

校長講話 37

令和6年 1月 29日 (月)

校長 野尻 史子

おはようございます。

今朝も寒かったですね。朝、起きるのが大変になっているかもしれません。おはようございますのあいさつが、ちょっと元気のない人もいます。さあ、背筋をのばして、声をしっかり出して挨拶して、元気な一日を過ごしてほしいと思います。

さて、今日は、元気で安全な毎日を過ごすために、ぜひみなさんに気をつけてほしいことを話します。

先週の水曜の夕方、北区内の小学生が、トラックと接触する交通事故がありました。

信号機や横断歩道の無い2車線道路を急いで横断するとき、その子はトラックが通り過ぎたので渡ろうとしたそうですが、そのすぐ後ろからもう一台別のトラックがきてはねられてしまいました。意識はあるそうですが、事故の時は頭をうったのか出血があり、左脚も骨折と、大きなかがをしたとのことです。

2車線、広い道路で、横断歩道でない場所を急いで渡ろうとしての交通事故です。病院で治療を受けているようですが、場合によっては、命にもかかわる事故だったと思います。

朝登校するときは集団登校ですから大丈夫とは思いますが、一人で遅れたり、家に帰ってから出かけたりするときには、こうした交通事故に遭わないため、一人一人に気をつけてほしいことがあります。

- (1) 道路を横断する時は、横断歩道のあるところを横断する。
- (2) 飛び出しや、駐車（停車）車両の近くの横断は絶対にしない。
- (3) 信号が青になんでもすぐに渡らず、右左の安全確認をしてから道路を横断する。
- (4) 横断中も近づいてくる車がないか注意する。
- (5) トラックなど大きい車両が右・左折てくる場合は、車両の動きをよく見て車両が確実に止まってから横断する。
- (6) 自転車利用時はヘルメットを必ずかぶり、一時停止標識等の交通ルールを守る。

また、この季節は、交通事故だけでなく、火事や、インフルエンザの流行など、ほかにも気をつけてほしいことがあります。

うがい、てあらい、はもちろんですが、外に出るときは温かい服装で、体温調節しながら、風邪を引かないように、気を付けましょう。

子供だけで火を扱うのもぜったいにいけません。

「このくらいいいかな」と油断せずに、元気で安全に、生活してほしいと思います。
お話を終わります。